

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立双葉中学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は全国とほぼ同程度であり、一定の定着がみられます。特に「情報の扱い方に関する事項」では高い定着があり、日頃からの継続した取組の成果がみられます。一方で「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、事象や行為、心情を表す語句の理解が弱い傾向がみられます。
- ・数学の平均正答率は全国よりも高く、定着がみられます。特に「図形」についての知識や理解の定着が顕著で、継続した取り組みの成果がみられます。みえています。一方で「データの活用」については課題があり、その中でも特に「四分位（しぶんい）範囲」に関する定着が低くなっています。
- ・英語の平均正答率は全国とほぼ同程度であり、一定の定着がみられます。特に「読むこと」について社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができます。一方で、「聞くこと」について、情報を正確に聞き取ることに課題がみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「朝食を毎日食べていますか」「友達関係に満足していますか」について高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
「読書は好き」「国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫している」とした生徒の割合が低いです

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・教科全般にわたり、言語を使って自分の考えや思いを伝え合う場面を授業や活動に多く取り入れ、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫して表現する力を育てます。
- ・国語の「言葉の特徴や使い方」の学習では、言葉の意味を調べ、文脈から読み取ったことをもとにして自分の考えを表現するような活動を取り入れます。
- ・数学の「データの活用」の学習では、四分位範囲についての理解を深めるために、実際にさまざまなデータを取り出して考えるような活動を取り入れていきます。
- ・英語の学習では、コミュニケーションの機会を充実し、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士が英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動を取り入れていきます。
- ・「朝読書」を継続し、読書好きな生徒を育てます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・これからも規則正しいリズムで生活できるように、見守ってあげてください。
- ・本や新聞等を家に置くことで、普段から自然と活字に触れられるような環境づくりをお願いします。